

決算特別委員会産業建設分科会

R5. 7. 10 (月)
午前10時00分～
場所：全員協議会室

- 1 開 議
- 2 事務事業評価対象事業の選定
- 3 その他

決算事務事業評価に向けて

目的

事業の問題点を明らかにし、行政側に次年度予算において反映させること。

☆事業選定について

(留意点)

抽象的な議論、結論で終わらないよう、具体的な事務事業レベルで選定する。

対象とすべき事業

- ・ 市民の関心が高い、市民生活と密接した事業。
- ・ 今後も継続予定の事業で、目的に対する成果が見えにくいもの。
- ・ 市民ニーズの変化等に対応して、新たな視点を導入して改善すべき事業。
- ・ 民間、国、府が行う他の事務事業と事業目的や成果が重複しているもの。

明確な理由がない限り対象外とすべき事業

- ・ 小規模な事業
- ・ 一般財源の割合が少ない事業（国・府補助事業など）
- ・ 今後終了を予定している事業
- ・ 新規事業で成果がまだ表れていないと判断し得る事業
- ・ 法定受託事業や一般管理経費など

具体的な問題点を提示して、事業選定を行うこと。

過去4年間における評価結果（選定事業／評価結果／付帯意見）

【令和4年度審査】

選定事業／評価意見等	評価結果
道路維持経費	拡充
○安定した予算確保のもと、安全・安心な道路行政に努められたい。また、道路整備マップ等で情報を可視化するとともに、SNS等を活用し、市民協働型で道路状況等を取り入れる仕組みを構築されたい。	
排水路新設改良事業費	拡充
○ゲリラ豪雨に対応できる市街地の排水路整備について、しっかりと予算を確保して進められたい。また、業務の効率を向上させるために、各関係部署と連携を図られたい。	
森林活用推進事業経費（森林意向調査実施計画策定業務委託料・森林経営管理権集積計画業務委託料）	拡充
○林務体制の強化及び予算の充実を図り、森林環境整備を促進されたい。さらに、早急にプランナー等の人材を育成するとともに、施業技術等の向上について他市町とより一層連携されたい。また、有害鳥獣対策も考慮した中で、森林整備計画をよりよい計画に見直されたい。	

【令和3年度審査】

選定事業／評価意見等	評価結果
林業担い手育成事業経費	その他（事業名に対して必要な予算措置がされていない）
○現状として、この経費は亀岡市森林組合の作業員に対してのみ使用されており、本来の事業趣旨・目的に沿った予算措置がされていない。もう一度初心に戻り、林業の担い手育成とは何なのかをしっかりと再認識し、担い手育成を最優先に考え、森林整備計画を作成の上、必要な予算の確保や体制整備を図られたい。	
観光推進経費（外国人観光客向け観光案内所窓口強化業務委託料）	見直しの上縮小
○現在のコロナ禍においては、事業目的に対しての必要性がほとんど感じられない。この状況の中で、どのように有能な人材を育成・確保していくのかを考え、通常の観光案内に戻し、取り巻く環境に応じた仕組みを構築されたい。	
観光推進経費（亀岡市観光協会運営費補助経費、亀岡市観光協会宣伝事業等補助経費）	見直しの上継続
○正確な観光入込客数のデータを把握し、各関係機関との連携を事細やかに行うとともに、的確な戦略を立てることができる人材の確保と組織をつくられたい。また、観光の宣伝については、各交通機関や地元観光事業者と協力し、観光客に喜ばれる仕組みを構築されたい。	

【令和2年度審査】

選定事業／評価意見等	評価結果
農業担い手づくり育成事業経費	拡充
○農家所得の向上に向け、現事業の見直しを行うとともに、新規就農者の育成等に係る専任マネージャーの充実とともに、亀岡農業をマネジメントできる人員を配置することにより、集落営農等が安定して維持・発展できるよう一層努力されたい。	
商工業振興対策経費（かめおか元気企業支援事業補助経費、かめおか元気商店街等支援事業経費）	拡充
○亀岡商工会議所とさらに連携を深め、事業内容を見直し、しっかりと予算を確保されたい。また、各事業を一過性で終わらせるのではなく、どのように将来につなげていくのかについてのチェック体制を整えられたい。	
観光推進経費（亀岡市観光協会運営費補助経費、亀岡市観光協会宣伝事業等補助経費）	拡充
○コロナ禍にある社会情勢を鑑み、観光施策をスクラップ・アンド・ビルドにより見直し、亀岡市観光協会や森の京都DMO等と連携強化を図り、行ってみたいまち、住みたいまち亀岡を目指し、シティープロモーションにつながるよう、より一層充実した取組とされたい。	

【令和元年度審査】

選定事業／評価意見等	評価結果
商工業振興対策経費	見直しの上継続
○成果指標を適正に測り、各補助金や助成金の見直しを図られたい。 ○地域商店街等とさらに連携を図り、地域経済の活性化とにぎわい創出に向けより一層努力されたい。	
観光推進経費	見直しの上継続
○森の京都DMO等関係団体とよりしっかりと連携を図り、2020年のターゲットイヤー及びその後の亀岡市の観光推進に向け、プロモーションの強化を図られたい。 ○滞在型観光の推進と消費拡大に向け、さらなる工夫を図られたい。	
バス交通関連経費	見直しの上継続
○今後も公共交通に対する市民ニーズを的確にとらえ、市民の移動手段確保のため一層工夫されたい。	